

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

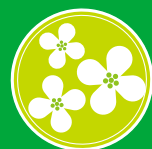
2013
平成25年

6.15

梅雨の季節の七変化!

目次

「しみの広場」	2
広報サポーター紹介	
復幸菜の花プロジェクト	
今月の渥美半島の花	
地域の話題	
市民活動を応援するページ	
スクールレポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらシティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーター紹介……………2ページ
- 被災地を支援・今月の渥美半島の花……………3ページ
- 地域の話題（福江校区）……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

市民発!

はじめまして! 平成25年度広報サポーターです。

田原市が募集した広報サポーターに、私たち3名が選ばれました。これから広報紙作成やケーブルテレビ市政番組、ブログやツイッターなどにかかわっていきますので、どうぞよろしくお願いします。身近な話題や、ためになる情報など、市民の皆さんにお届けしていきます。皆さんの地域にも取材に伺うかもしれませんので、ご協力をお願いします。



★今後、広報サポーターが広報たはらや市のホームページなどに登場する際は、ケーブルテレビのナビゲーターを除き、似顔絵（イラスト）となります。

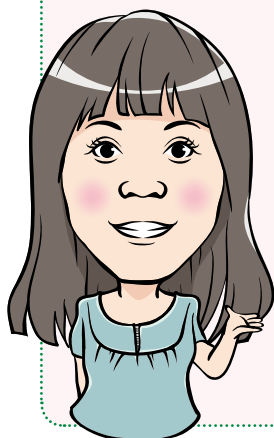
❖田原市広報サポーターの部屋

- 田原市ホームページ
<http://www.city.tahara.aichi.jp/>
- ブログアドレス
<http://kohotahara.dosugoi.net/>
- ツイッターアドレス
<http://twitter.com/#!/kohoTahara>
- 広報秘書課 ☎22局0138

市民記者として、田原駅前周辺の様子や田原市の魅力、普段あまり知られていない隠れた情報を発掘して、皆さんにお届けします。

取材などで見かけたら気軽に声をかけてくださいね。

大久保ゆり（田原中部校区）



ケーブルテレビ市政番組「街角ネットたはら」のナビゲーターとして、皆さまへ田原市の情報をお伝えします。ブログでは、子育てに役立つ情報を中心に発信したいと思っています。一年間よろしくお願いします。

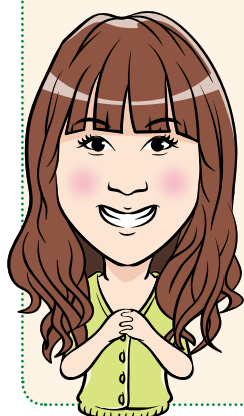
片桐純子^{じゅんこ}（田原中部校区）



田原市のイベントや身近な話題など、今年はブログとツイッターを中心に幅広く活動していきます。

市制10周年を迎えた田原市の取り組みなども、皆さんにお届けします。

浪崎季代美^{きよみ}（高松校区）



支援

被災地に菜の花を咲かせるための 肥料の寄付を募っています！

「セントレア×岩手県大槌町×愛知県田原市復幸菜の花プロジェクト」への支援協力として、東日本大震災の被災地である岩手県大槌町に菜の花を育てるための肥料の寄付を受け付けます。

田原市と渥美半島観光ビューローでは、平成24年度から中部国際空港セントレアが実施する事業「セントレア×岩手県大槌町×愛知県田原市復幸菜の花プロジェクト」への支援協力を行っています。

これは、東日本大震災の被災地の一つである岩手県大槌町で行われている「大槌川に菜の花を植えて亡くなられた方への鎮魂と被災した方を元氣付けよう」という取り組みを支援するものです。

昨年、田原市から送った菜の花は、

5月には
きれいな
花を咲か
せ、大槌
町の皆さ
んを元氣
付けるこ
とができ
ました。



●大槌町の菜の花の様子

今年は、菜の花を育てるための肥料の寄付を受け付けます。皆さんからいただいた肥料は、中部国際空港セントレアを経由して被災地に届けられます。皆さんの温かいご支援をお待ちしております。

●受付期間

7月29日（月）～8月2日（金）

●受付場所

伊良湖菜の花ガーデン駐車場
（旧伊良湖フラワーパーク）

●その他

必ず事前に、肥料の量と種類、持ち込んでいただける日時を、市役所商工観光課へ連絡のうえ、搬入をお願いします。

▼問い合わせ先

田原市役所 商工観光課

☎23局355222 FAX22局38817

今月の渥美半島の花～アンズリウム～

アンズリウム（鉢花／出荷時期：通年）

【花言葉】…^{ぼんのう}煩惱・^{たわむ}情熱・戯れの恋

ハート型のつややかな質感の、花とも葉ともつかない部分は、葉が変形した仏炎包と呼ばれるもので、本来の花は仏炎包から伸びた尾のような部分です。

その姿から、ギリシャ語で「花（アンサス）」と「尾（オウラ）」を意味する花名がつけられています。赤色でハート型の仏炎包が一般的ですが、色は赤、白、紫、ピンク、緑、黄緑などがあり、形もハート型だけでなく卵型や細長くとがった形など、色も形もさまざまです。

観葉植物ですが、花持ちがよくアレンジメントなどにも利用されていて、別名で「紅団扇」とも呼ばれています。

田原市は県内1位の生産量を誇っています。





▲地域の町並みについて考える勉強会の様子(平成24年11月)



▲取り組みの中心となる城坂について話し合う

地域の話題

福江校区

歴史ある町並みを守り育む取り組み

地域の特徴ある景観について学び、知ってもらい、歴史ある町並みの保護につなげようという取り組みで、福江校区コミュニティ協議会からお便りが届きました。



福江校区は、「風情のある町並み」が残る福江町「保美貝塚など史跡が多く残る保美町」「洋花の栽培や漁業が盛んな向山町」「菊の栽培が盛んな長沢町」の、4つの特徴ある地区から成り立っています。

地域の魅力が満載の散策マップ

福江校区コミュニティ協議会では、平成24年度、福江校区歴史散策マップを作成しました。これは、観光客や地域の方々に、マップ片手に校区内を歩いてもらうことで、歴史ある町並みを体感してもらおうと作成したものです。

校区を町ごとに4つのエリアに分け、「商いのさと福江」「歴史のさと保美」「洋花のさと向山」「菊のさと長沢」とキャッチフレーズを付け、

それぞれの見所をイラストで表現しました。散策マップは、福江市民館などで無料配布しており、ふるさとの魅力を再発見できると好評です。ぜひご活用ください。

歴史ある町並みについて学び守る取り組み

平成24年度は、「景観まちづくり地域意見交換会」を開き、大切にしていきたい風景などについて勉強し、意見交換を重ね



▲福江小学校や福江中学校、福江高等学校に配布したほか、福江市民館や潮音寺、栖了院、福江校区の「どんぶり街道」加盟店で無料配布しています

てきました。改めて地域を見つめなおすことで、城坂周辺に代表される福江の原風景として、「何を残していきたいか」「地域の宝」ともいえるべき町並み保存のために何をすべきか、再認識することができました。

平成25年度は、景観を活かしたまちづくりを行う先進地の視察や、「地域の宝」を次世代につなげ、守る方策について考えていきたいと思っています。また、散策マップを活用した講座や、福江町の城坂周辺を中心にした「景観に関するワークショップ」などを開催していく予定です。

今後も、地域住民が誇ることのできる町並みを守る取り組みを続けていきます。



市民活動を応援するページ



市民活動紹介

NPOエコウインドネット

～エコの風おこそう会！～

●平成25年度市民協働まちづくり事業補助金採択事業



▲宇津江海岸での清掃活動の様子

愛・地球博（2005年開催）で学んだエコの大切さを、地域で生かそうと設立した団体です。「農」「海」「竹」、3つの活動へ市民に参加を呼びかけ、エコの大切さを広めています。

「農」部門では、遊休農地にひまわりやゴーヤを栽培し、子どもたちと収穫を楽しむとともに、ゴーヤを被災地に届けています。「海」部門では、他団体や企業とも協働し、三河湾・汐川・清谷川の清掃活動を行っています。そして「竹」部門では、竹ドームを基地として、竹箸や竹トンボ作り教室などを開催しています。

◎第5回渥美半島里海ビーチクリーン

私たちの住む地域を美しくするとともに、エコの大切さを一緒に学びましょう。

日時●10月6日☎午前9時～10時30分

場所●白谷海岸～伊良湖方面海岸（三河湾）

お問い合わせ

代表

鈴木



090-2131-4352

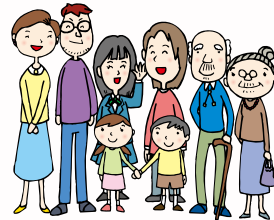


tako-mai@tees.jp

市民提案

市の事業を受託してみませんか？

「市民提案型委託制度」は、行政が実施すべき性質の市民サービスなどについて、効果的な事業内容を提案した団体と市が委託契約を結ぶものです。市民協働で事業を実施することにより、少ない経費で高い効果を得ることが期待されています。市民活動団体の皆さんの、自由で柔軟な発想での提案をお待ちしています。今回募集されるテーマや応募方法は以下のとおりです。



募集テーマ①市民活動団体交流会「しみんのひろば」開催事業

[提案内容] 市全域を対象とした市民活動団体のPR、団体間交流の場となるイベントの企画・開催

[事業費] 上限40万円

募集テーマ②男女共同参画啓発事業

[提案内容] 男女共同参画に関する講演会の企画・開催や啓発パンフレットの企画・作成など

[事業費] 上限20万円



●募集期間 7月18日☎午後5時まで ※必着

●提案内容 上記の募集テーマに即した事業で、平成26年2月28日☎までに完了する事業

●対象団体 主に市内で公益活動を行う5人以上で構成された団体

●応募方法 市民協働課で配布する提案用紙に必要事項を記入して、直接または郵送で提出。提案用紙は市ホームページからもダウンロード可（<http://www.city.tahara.aichi.jp/>→トップページ右下「市民協働のまちづくり」）

応募団体による担当課への提案説明により審査

●応募・問い合わせ先 市民協働課 ☎23局3504 ☎23局0180 ☎kyoudou@city.tahara.aichi.jp

※平成26年度実施の「自由テーマ型委託事業」については、別途募集が行われます。

田原市民活動支援センター



<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

■NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。（毎週☎・☎・☎ 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース）

■このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ：☎22局1111（内線812）※開設時間のみ ☎23局0180 ☎shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 59

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「その道の達人に学ぶ会」と「1年生なかよくしようね集会」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

田原中部小学校「その道の達人に学ぶ会」

夢に向かって努力し続ける

田原中部小学校では、『夢を抱く子』の育成を目指してキャリア教育を推進しています。その一環として、その道の達人から人としての生き方・在り方を学ぶ活動を実施しています。

平成24年度は、ニューイヤー駅伝などで活躍する、トヨタ自動車陸上長距離部(田原工場所属)の佐藤敏信監督を講師にお迎えし、「夢に向かって」の演題で講話をしていただきました。佐藤氏は「結果の出るときも出ないときもあるが、あきらめずに頑張る続けることで、いつか夢は叶うものである。それを応援してくれる家族や先生に感謝する気持ちが大切である」ことを子どもたちに教えていただきました。その後、コーチや選手のみなさんからトレーニングの実技を見せていただきました。代表の子どもや保護者も参加して、踏み台昇降運動を行い、運動する前と後の心拍数を計測しました。1分間の運動で息の上がる人もいる中で、選手の心拍数はほとんど変わらず、アスリートの心肺機能の高さに驚かされました。また、速く走るコツも伝授していただきました。今回の活動で、子どもたちは、努力し続けることが夢の実現につながることをしっかりと学ぶことができました。



●選手から速く走るコツを学ぶ子どもたち



●佐藤敏信監督

●早並びゲームなどで楽しんだ子どもたち



清田小学校「1年生なかよくしようね集会」 全校集会でみんなパワーアップ!

元気いっぱいピカピカの1年生16人が清田小学校に入学しました。児童会役員が企画した「1年生なかよくしようね集会」では、全校児童110人が自己紹介やゲームを楽しみました。

早並びゲームでは、縦割り班でどの班が早く並べるか競争し、最初の班活動にチャレンジしました。その後、班毎に自己紹介をし「〇〇君の隣の△△さんの隣の□□です」と1番目の子から自分までの全員の名前を言うというルールで、班のメンバーの名前を覚えました。清田小学校

バージョンの「猛獣狩りに行こうよ」ゲームでは、他の学年にも声を掛け合う姿が見られました。最後に行った学校クイズでは、桜の木や楠など学校の特色を取り上げた問題が数多く出され、児童たちは学校の良い所に気づくことができました。

集会を終えて1年生は「6年生が優しくしてくれて楽しかった」と満足そうに感想を語ってくれました。今年も楽しい全校集会で盛り上がります。



5月3日(金)

校内美化活動で
春花壇が優秀賞に

神戸小学校の花壇が「フラワー・プラ
ボー・コンクール(FBC)」で優秀賞を受賞
しました。神戸小学校は、平成24年春にも受
賞しており、学校花壇づくりを通して、学習
や校内美化に取り組む児童たちの日ごろの
活動が高く評価されました。



▲受賞した神戸小学校の花壇と園芸部の皆さん

5月11日(土)

実践的研修で
防災技術を学ぶ

防災リーダー研修会が、消防署で開催さ
れました。当日は、地域の自主防災活動の中
心となる約100名の防災リーダーが参
加。防災倉庫に備蓄された防災資機材の使
い方などを学び、いざという時に役立てる
ための実践的な研修を行いました。



▲消防隊員から防災資機材の使用方法を学ぶ防災リーダーたち

5月19日(日)

団結力を磨き
地域を守る

山林火災訓練が蔵王山展望台第3駐車場
付近と渥美花の村ゴルフコース駐車場付近
で実施されました。訓練には田原市消防団
の全10分団約550名が参加。各分団は連
携しながらホースを中継し、想定した火災
現場への放水を行いました。



▲想定された火点に向けて放水を行う消防団員たち

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

●循環型社会を目指して

田原市では、たはらエコ・ガーデンシティ構想のもと菜の花エコプロジェクトを推進しています。

菜の花エコプロジェクトは、菜の花をキーワードにした農地の健全化を図るプロジェクトです。

◆主な事業

- 菜の花の栽培
- 菜種の利活用
- 廃食用油の利活用



昨年10月に種をまいた菜種は場では、5月下旬に収穫の季節を迎え、NPOの皆さんによって、刈取り・選

別・乾燥作業が行われました。

菜種の収穫は、適期を逃すとサヤが乾いて種がこぼれてしまうため、タイミングが重要です。



一方で、ヒマワリなどの種まき作業も始まっています。これは、冬に菜の花が咲いた畑を維持管理するために作付けするもので、市内の遊休農地の土地所有者やNPOの皆さんが中心となって管理しています。

また、菜の花エコプロジェクト



源循環や環境と食と農業のかかわりについて学習するため、市内の保育園・幼稚園、小学校でもヒマワリの種まき体験が行われています。体験中の子どもたちは笑顔でいっばいです。菜の花エコプロジェクトの輪は、多くの市民の皆さんに広がりを見せています。

●たはらエコチャレンジャー宣言登録者数
個人2008人・事業所85か所(5月末現在)

▼エコエネ推進課

☎23局7401 FAX23局0180

環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん13



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

家庭から出る生ごみは、もやせるごみの約3割を占めています。生ごみを出さないよう工夫することで、市全体の生ごみの減量につながります。今回は、家庭から出る生ごみを減らす「生ごみ処理機」をご紹介します。



●生ごみ処理機のメリット

- 生ごみの減量ができる。
- その日のうちに生ごみを処理できるため、匂いや雑菌の繁殖を抑える。
- 生ごみからできた堆肥を家庭菜園やプランターなどで利用できる。



●種類と特徴

◆生ごみ処理容器(コンポスト)

土の中の微生物の働きや発酵資材を使って、生ごみを堆肥にする。日当たりがよく、風通しのよい屋外などに設置。堆肥化にかかる期間は数カ月。

◆電気生ごみ処理機

- ①乾燥式Ⅱ熱風などで生ごみを乾燥させ粉碎する。主に、屋内に設置。
- ②バイオ式Ⅱバイオ剤を生ごみに混ぜ、微生物の力で発酵分解する。ベランダや軒下などの屋外に設置。

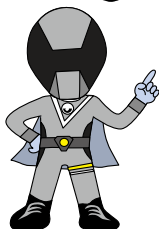
※堆肥化にかかる時間は数時間程度。

●補助金制度をご利用ください

市では、生ごみ処理機の購入に対し、補助を行っています。昨年度は25件の申請がありました。補助額は、購入費の1/2で、限度額はコンポストが3千円、電気生ごみ処理機が1万円です。

※詳しくは市ホームページもしくは清掃管理課へお問い合わせください。

生活スタイルに合った生ごみ処理機を選んで、リサイクルを始めてみてはいかがでしょうか。



▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180

在住外国人のための「生活ガイドブック」

～外国の方が田原市での生活に必要な情報を集めた冊子修正版が完成～

●生活ガイドブックとは？

在住外国人のための「生活ガイドブック」は、外国の方の田原市での生活をサポートするための情報を集めたもので、英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・タガログ語の6言語版があります。見開きの状態で、左側が日本語、右側が外国語になっていますので、日本人の方と一緒に読むことができます。

このガイドブックに、外国人登録制度の廃止や、その他の制度の変更、新たな情報などを盛り込んだ修正版が完成しました。



●市役所などで配布しています

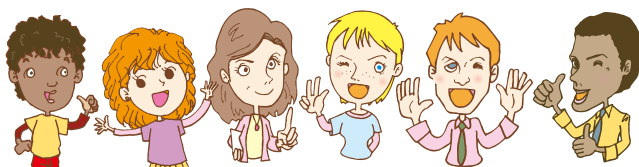
「生活ガイドブック」は、外国の方の転入時などにお配りしています。必要な方には随時の配布もしています。皆さんの周りの方にも、ぜひご紹介ください。

◎配布場所

広報秘書課、市民課、渥美支所市民生活課
中央図書館、赤羽根図書館、渥美図書館
※市ホームページからダウンロード可

▶ 広報秘書課 ☎ 22局0138

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>



季節を問わず発生し、海や山、平野など、どこでも落雷します。落雷数は8月が最も多く、冬の期間の約100倍です。夏は広範囲に発生して長時間継続し、冬は一回あたりの電気量が多いのが特徴

◆特徴

の間で発生する放電を落雷といいます。



大気中で放電が起こる現象です。湿った空気が激しく上昇し、上空の低い温度の層に達すると、雲の中で小さな水の粒が多量に発生し、雷雲となります。放電は、雲の中で小さな水の粒の衝突によって起こると考えられています。雲と地上の間で発生する放電を落雷といいます。

◆雷とは

こんにちは、けんちゃんです。毎年、落雷による被害が多数発生しています。今回は、知っているようで知らない「雷」についてご紹介します。

みんなで取り組む防災・減災
けんちゃん
防災知恵袋
落雷被害から身を守る

26

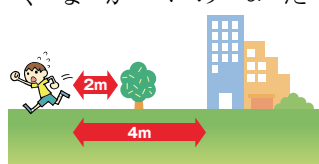


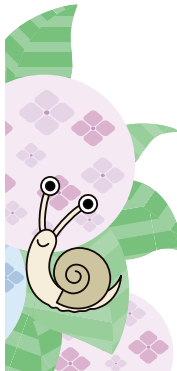
です。また、近くに高いものがあると、それを通して落ちる傾向があり、グラウンドや砂浜などの開けた場所や、山などの高いところでは人に落雷しやすくなります。

鉄筋コンクリートの建築や車、バスの内部に避難しましょう。また、木造建築の内部も基本的に安全ですが、電気器具や天井、壁から1m以上離ればさらに安全です。

電柱や建築物などの高い物体から4m以上離れた場所から避難しましょう。また、高い木の近くは危険なので、木の全ての幹や枝から2m以上は離れましょう。姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにしましょう。

▼防災対策課 ☎ 23局3548





青少年問題協議会委員の原仁一さん（福江町）が、永年にわたり体育協会会長および顧問として、スポーツを通じて青少年健全育成に尽力されたことなどが評価され、青少年育成者として表彰されました。

愛知県青少年育成県民会議 青少年団体等表彰

表彰

AWARDS

おしらせ				
		INFORMATION		

募集

WANTED

田原市臨時職員 （臨時保育士）

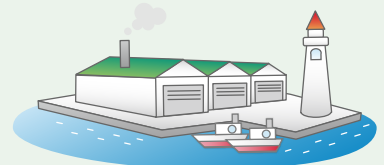


- ▼募集人員 10名程度
- ▼対象 保育士資格がある方
- ▼採用期間 平成26年3月31日まで
- ▼勤務場所 市内保育園
- ▼勤務形態 月々金曜日（祝日を除く）午前8時30分～午後5時
- ▼賃金 時給1100円
- ▼申し込み 子育て支援課にある履歴書に必要事項を記入のうえ直接提出
- ※詳しくはお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。
- ▼子育て支援課 23局3513 FAX 23局3545

消防設備士試験

- ▼対象 一般
- ▼試験日 8月18日（日）
- ▼場所 名古屋市内
- ▼種類 甲種特類を含む甲種全類・乙種全類
- ▼申し込み 書面申請 7月8日（月）～17日（水）の期間

市政ぴーあーる講座 三河港を知ろう



- ▶対象 市内在住・在勤・在学の18歳以上の方
- ▶日時 7月26日（金）午前8時45分～正午
- ▶集合 田原市役所北玄関
- ▶定員 30名（先着順）
- ▶内容 トヨタ自動車田原工場、カモメリアの見学
- ▶参加料 無料
- ▶申し込み 7月16日（木）までに、電話またはFAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合は、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業を明記）
- ▶広報秘書課 22局0138 FAX 23局1691 koho@city.tahara.aichi.jp

家庭介護のためのハートフル ケアセミナー 受講生

- ▼消防課 23局4074 FAX 23局0180
- 家庭でできる介護予防の知識と技術を身につけませんか。介護・福祉・健康に関心をお持ちの方、ぜひご参加ください。

加ください。

- ▼期日／内容 7月5日（金）アンチエイジングのためにできること【7月17日（水）いきいきシアワセ・ウォーキング】時間 1時30分～3時30分
- ▼場所 田原福祉センター3階大会議室 ▼定員 20名（先着順）
- ▼受講料 無料
- ▼申し込み 7月2日（火）までに電話またはFAXにて（FAXの場合は、住所・氏名・電話番号を明記）
- ▼高齢福祉課 23局4654 FAX 23局3545



生活

田原市民俗資料館を 臨時休館します

田原市民俗資料館は、資料整理のため臨時休館します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

臨時休館期間

7月1日(月)～8月31日(土)

田原市博物館

22局1720 FAX 22局2028

夏の交通安全県民運動 7月11日(木)～20日(土)

この運動を通じて、思いやりのある運転と交通マナーの向上に努め、交通事故による犠牲者の一層の減少を目指しましょう。

重点実施項目

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 歩行者・自転車・自走車の交通事故防止
- すべての座席でシートベルト・チャイルドシートを正しく着用
- 飲酒運転を根絶
- 交差点事故の防止

市民協働課

23局3504 FAX 23局0180

消費生活相談を ご利用ください



消費生活に関するさまざまな相談を受け付けています。相談員が法律の専門家である弁護士、司法書士の利用の仕方などをアドバイスします。一人で悩まずご相談ください。

なお、7月から開室場所が変わりますので、お知らせします。

▼日時＝毎週金曜日 午前10時から正午(祝日の場合は休室) ▼場所＝田原文化会館(101会議室) ▼相談料＝無料 ▼申し込み＝当日、受付にて(予約不要) ▼相談員＝本多ちえ子・杉原真由美・小笠原香代子・中川公子・渡会雅代

商工観光課

23局3522 FAX 22局3817

下水道に異物を流さないように お願いします！

最近、下水道施設への異物の流入が多発しています。故障の原因になり、適切な汚水処理ができなくなります。異物を流さないようご注意ください。

●流してはいけないもの

- ティッシュや乳幼児用おしりふきなど、トイレットペーパー以外の紙
- 野菜くずやご飯の残り、天ぷら油
- ※排水管が詰まる原因になります。
- ガソリンや灯油など揮発性の高い危険物

※下水道管の中で爆発を起こす原因になります。

▼下水道課

23局3525 FAX 22局3184

▼下水道課(渥美支所内)

33局1113 FAX 32局2506

教員免許状をお持ちの方は 教員免許の更新が必要です

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により、現在、教員免許更新

新制が実施されています。今後、教壇に立つ見込みのある方は、生年月日に応じて修了確認が必要です。

免許の期限は、文部科学省ホームページで確認することができます。教員免許更新講習が必要な方は、申し込みや確認申請の手順などについて愛知県教育委員会ホームページでご確認ください。

◆文部科学省ホームページ

HP http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index.htm

◆愛知県教育委員会ホームページ

HP <http://www.pref.aichi.jp/000023795.html>

▼愛知県教育委員会教職員課教員免許グループ

電話(052)954局6772

市制施行10周年記念 七夕企画「星に願いを」

日本の伝統的な風習である“七夕”を、親子で体験してもらいます。短冊に願い事を書いて、笹に飾ろう♪



▶日時＝6月30日(日)
午前11時～正午

▶場所＝中央広場(セントファール横)
(雨天の場合はセントファール)

▶その他＝短冊を持ってきた高校生以下の方には、お菓子をプレゼント。詳しくは、新聞折り込みチラシやホームページでお知らせする予定です。

▶(株)あつまるタウン田原

24局2345

HP <http://www.tahara-tmo.com/>

▶街づくり推進課 23局3535

※市委託事業

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

其の
147



文化財課 ☎23局3635
FAX 22局3811

引き出物の落雁

もう40年も前の小学生のころ、家族が出席する婚礼や仏事が楽しみでした。不謹慎かもしれませんが、その行事の意味も知らなかった私のお目当では、風呂敷に包まれた引き出物です。おまんじゅうや洋菓子が入っているものなら兄弟で取りあいのけんかが始まります。仕方なく、次の機会は誰々と、順番制にして解決したものでした。

しかし、期待して開けた箱の中身が落雁だった時はがっかりです。今で

こそ、引き出物は洋菓子が多い中、当時は落雁が多かったように記憶しています。落雁は、米などのでんぷん質の粉に水飴や砂糖を混ぜて着色し、型に押し乾燥させた干菓子です。日本のお菓子でも古いものといえます。

ちょうど私の子どものころが、引き出物のお菓子に落雁が使われなくなつた時期であつたようです。昭和30年代末ごろから、タイの形をした袋（ポリエチレン製）に砂糖を入れたものへ徐々に変わつていきましたが、これも今ではほとんど見なくなりました。

左の写真は、渥美郷土資料館に展示してある、タイの落雁の型です。厚い枚の板に鯛が彫られています。タ

▲落雁の型
(渥美郷土資料館)



▲今では見られなくなった落雁の引き出物
(静岡県浜松地方のもの)

イはうろこが強調され、尾びれの跳ね具合は活きの良さを表現しています。手慣れた職人の手によるものですが、どこで作られたものでしょうか。

昭和初期から戦後にかけて、伊良湖で使われていたという札が付いていました。この型は、地域のお菓子屋さんが使ひ、落雁を慶弔に使用した伝統があつたことを示しています。

タイは大きくておいしいばかりでなく、古代以降、各種の儀礼に使われる日本人にとっては特別な魚です。

ほかにも縁起物のコイやエビ、鶴、弔事に使うハス、節句などの年中行事用の落雁も作られていました。そもそも、これらの行事の際、お皿に盛ら

れる料理をかたどつたものでした。浜松市周辺でも同じように行われていたが、時代、地区によって形は異なっています。

現在でも結納のお茶受けの干菓子やお供え物として使われるなど、なじみ深いものです。慶弔の道具立てのように深く関わつたお菓子も、あまりないのではないのでしょうか。

子どもにはなじめなかつた落雁も、このように歴史をひもとくと、また違った味わいがあります。さくさくとした食感、そして口に含むとでんぷん質の溶ける甘み。この素朴な味に日本人の伝統の良さが詰まっている気がします。

(増山)

今月の「表紙」

▲東海地方も例年より少し早く梅雨入りしました。この季節が似合う花といえは「アジサイ」。この花には「移り気」「辛抱強い愛情」「元氣な女性」などの花言葉があります。人の心の移り気は、相手からあまり印象よく思われませんが、アジサイは土壌の性質や遺伝によって青から紫、紫からピンクへと変わるものもあります。見る者の心を快晴にしてくれる花のひとつですね。(一)

【表紙の写真】滝頭公園のアジサイ